

執筆者

白井 啓介……………言語文化研究科教授
森本 奈理……………文学部准教授
陳 新……………中国・中原工学院専任講師
雷 雲恵……………言語文化研究科博士課程院生

<編集後記>

今号も言語文化研究科担当の教員、院生、元院生の研鑽の結果を掲載することができた。執筆者ならびに関係各方面にお礼を申したい。

昨今、雑誌や書籍の電子化、紙媒体を伴わない公刊が増え、人文系でも知見の広まりが早く広がっている。コロナウイルスの蔓延はこれを促進するかもしれない。とはいえ、紙媒体は全体を見通す容易さで勝る面もある。模造紙を床に置いて何かと書きつけ頭の中を整理するのは過去の話だが、そのでのソフトの使用体験が及ばない気がするのである。図書館の書庫や書店の棚の間を歩き回るのも、予想外のものとの遭遇の起こりやすさは最近の検索に勝っているように感じる。(以前の検索はゴミが多い分、意外なものに巡り合っていた。) デジタル・ネイティブではない身として技術を生かし切っていないだけかもしれないが。

紙媒体での発行を取りやめることを当面検討しない理由になっただろうか。鬼山 信行

文教大学大学院言語文化研究科紀要 第7号

2021年3月16日印刷・発行
編集 文教大学大学院言語文化研究科
代表者 白井 啓介
事務室 坂上 葉子 ・ 佐々木 洋子
発行 文教大学大学院言語文化研究科
〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337
TEL 048 (974) 8811 内線2301
印刷 コスモプリント株式会社